



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6330 URL <http://www.toyo-eng.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 石橋 克基
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 脇 謙介 (TEL) 047-454-1521
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	162,674	51.8	3,785	△25.1	4,153	△15.2	2,160	△45.0
24年3月期第3四半期	107,176	△5.8	5,055	32.5	4,897	22.1	3,927	63.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,949百万円(△4.4%) 24年3月期第3四半期 2,039百万円(45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.26	—
24年3月期第3四半期	20.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	217,597	69,806	31.4
24年3月期	222,415	69,265	30.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 68,429百万円 24年3月期 67,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当(創業50周年記念配当) 1円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	71.0	7,500	40.4	7,000	37.2	3,500	△6.1	18.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	192,792,539株	24年3月期	192,792,539株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	951,494株	24年3月期	910,542株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	191,869,003株	24年3月期3Q	191,916,290株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 受注実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、円高是正傾向にあるものの輸出は依然として不振の状況が続いており、消費が低迷するなか生産も減少し、全般的に低調に推移しております。世界経済においては、米国で消費が比較的堅調に推移し景気回復の兆しが見られますが、欧州では高水準の失業率やこれに伴う消費の大幅減少などにより景気は引き続き低迷しております。新興国では、中国、インド、ロシア、ブラジルなどにおいて経済成長が鈍化しておりますが、インドネシア、マレーシアなど東南アジア地域では成長を維持しております。総じて世界経済は斑模様の様相を呈しており、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの事業分野の中核であるプラントおよび産業設備に関する市場は、国内では、上記の日本経済の状況下、厳しい受注環境が続いております。一方、海外では、中東地域において高い油価に支えられた設備投資が継続し、また、東南アジア地域において需要拡大期待によるエネルギー、化学肥料、社会インフラの各分野への設備投資が続いております。インド、ロシア、ブラジルにおいては成長が鈍化しているものの、当社に關係するプラント市場における設備投資は底堅く続いております。更に、北米地域においてはシェールガスの開発・生産の進展に伴い化学肥料、ガス化学の各分野の設備投資が活発化しつつあります。しかしながら、受注環境としては、韓国および中国のコントラクターに加え、ユーロ安を背景とする欧州のコントラクターとの熾烈な競争が常態化している状況にあります。

こうした状況の中、当社グループは、新興国市場に重点を置き、エネルギー、石油化学、社会インフラの各分野ならびに当社が技術ライセンスを保有する化学肥料(尿素)分野において営業活動を積極的に展開すると共に、資源開発(アップストリーム)案件への取り組み強化や、サービス型ビジネス(フィージビリティースタディ、基本設計、フロントエンドエンジニアリングデザイン(FEED)、調達サービス、プロジェクトマネジメントサービス、コンサルティングサービス等)の拡大に努めました。また、イラクやサブサハラといった新地域での案件形成に注力しました。

以上の活動により、受注については、インドネシア向け化学肥料(尿素)製造設備プロジェクト、ロシア向け重質油処理設備設計調達業務およびイラク向け包括技術サービス他を獲得いたしました。また、グループとしての総合力、競争力の強化を図り、トーヨー・マレーシア(トーヨー・エンジニアリング・アンド・コンストラクション・エスディーエヌ・ビーエイチディー)と当社との共同で、マレーシア向けガス処理設備延命化プロジェクトを獲得いたしました。この結果、第3四半期累計期間における受注高は、1,322億円(前年同四半期比18.6%減)となりました。第4四半期につきましても、引き続き、化学肥料、石油精製、石油化学、エネルギー関連、社会インフラの各分野の案件の受注に注力してまいります。

一方、業績面では、当第3四半期連結累計期間において、売上高(完成工事高)1,626億円(前年同四半期比51.8%増)、営業利益37億円(前年同四半期比25.1%減)、経常利益41億円(前年同四半期比15.2%減)、四半期純利益21億円(前年同四半期比45.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

〔EPC事業〕

東南アジア、南米をはじめとした各地域で遂行しているエネルギー関連、化学肥料等の案件の進捗に伴い、売上高は1,530億円(前年同四半期比58.9%増)となりましたが、営業利益は、海外子会社における一部プロジェクトの収支の悪化が影響し、29億円(前年同四半期比31.3%減)となりました。

〔IT事業〕

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社において、他社開発ERPパッケージ製品を基に展開するソリューション事業および自社の独自開発ERPパッケージ製品に基づくプロダクト事業が進捗したことにより、売上高79億円(前年同四半期比9.4%減)、営業利益1億円(前年同四半期比39.7%増)となりました。

〔不動産賃貸・管理事業〕

株式会社テックエステートにおける千葉県習志野市商業施設賃貸事業や、その他住宅賃貸・管理事業などの事業収入を基盤として、売上高16億円(前年同四半期比18.3%減)、営業利益7億円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から48億円減少し、2,175億円となりました。これは工事の進捗により、受取手形・完成工事未収入金等が101億円、未成工事支出金が71億円増加した一方、有価証券が231億円減少したことなどによるものです。

負債については、支払手形・工事未払金等が30億円増加した一方で、借入金61億円、未成工事受入金が38億円減少したことなどにより前連結会計年度末から53億円減少の1,477億円となりました。

純資産については、四半期純利益21億円を計上した一方で、配当金の支払による11億円の減少などにより、前連結会計年度末から5億円増加の698億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月13日の第2四半期決算発表時に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	48,041	44,070
受取手形・完成工事未収入金等	35,832	46,008
有価証券	44,499	21,341
未成工事支出金	26,370	33,507
繰延税金資産	1,655	1,672
未収入金	14,472	18,094
その他	3,503	5,361
貸倒引当金	△3,530	△4,742
流動資産合計	170,844	165,312
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	28,078	26,602
機械、運搬具及び工具器具備品	4,577	4,746
土地	17,608	17,552
リース資産	1,890	1,843
建設仮勘定	4	32
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,996	△19,393
有形固定資産合計	32,164	31,384
無形固定資産		
のれん	3,322	3,210
その他	3,081	2,905
無形固定資産合計	6,403	6,116
投資その他の資産		
投資有価証券	9,551	11,492
長期貸付金	4,575	4,574
繰延税金資産	361	384
その他	3,510	3,216
貸倒引当金	△4,995	△4,883
投資その他の資産合計	13,003	14,784
固定資産合計	51,571	52,285
資産合計	222,415	217,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	50,096	53,133
短期借入金	12,983	10,709
未払法人税等	355	1,553
未成工事受入金	46,164	42,320
賞与引当金	998	557
完成工事補償引当金	596	167
工事損失引当金	1,489	2,585
その他	5,263	6,086
流動負債合計	117,947	117,113
固定負債		
長期借入金	24,582	20,679
リース債務	913	722
繰延税金負債	5	5
退職給付引当金	5,314	5,015
修繕引当金	913	863
その他	3,471	3,391
固定負債合計	35,201	30,677
負債合計	153,149	147,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,198	18,198
資本剰余金	20,759	20,759
利益剰余金	31,203	32,213
自己株式	△363	△377
株主資本合計	69,798	70,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225	457
繰延ヘッジ損益	△45	△98
為替換算調整勘定	△2,931	△2,723
その他の包括利益累計額合計	△2,751	△2,363
少数株主持分	2,219	1,376
純資産合計	69,265	69,806
負債純資産合計	222,415	217,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
完成工事高	107,176	162,674
完成工事原価	88,015	142,306
完成工事総利益	19,160	20,368
販売費及び一般管理費	14,104	16,582
営業利益	5,055	3,785
営業外収益		
受取利息	199	473
受取配当金	160	175
持分法による投資利益	366	477
雑収入	157	411
営業外収益合計	883	1,538
営業外費用		
支払利息	734	825
為替差損	221	36
雑支出	85	308
営業外費用合計	1,041	1,169
経常利益	4,897	4,153
特別利益		
固定資産売却益	—	383
特別利益合計	—	383
特別損失		
投資有価証券評価損	—	448
特別損失合計	—	448
税金等調整前四半期純利益	4,897	4,089
法人税等	941	2,473
少数株主損益調整前四半期純利益	3,955	1,615
少数株主利益又は少数株主損失(△)	28	△545
四半期純利益	3,927	2,160

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,955	1,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△662	231
繰延ヘッジ損益	△0	△52
為替換算調整勘定	△1,164	174
持分法適用会社に対する持分相当額	△88	△19
その他の包括利益合計	△1,916	334
四半期包括利益	2,039	1,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,158	2,548
少数株主に係る四半期包括利益	△118	△599

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	96,335	8,819	2,021	107,176	—	107,176
セグメント間の内部 売上高または振替高	159	13	173	346	△346	—
計	96,494	8,833	2,194	107,522	△346	107,176
セグメント利益	4,228	123	704	5,056	△1	5,055

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	153,033	7,989	1,651	162,674	—	162,674
セグメント間の内部 売上高または振替高	123	22	178	324	△324	—
計	153,157	8,011	1,829	162,998	△324	162,674
セグメント利益	2,904	173	710	3,788	△2	3,785

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間におけるEPC事業およびIT事業の受注実績は次のとおりであります。

期別	工事別	期首繰越 工事高 (百万円)	期中受注 工事高 (百万円)	計 (百万円)	期中完成 工事高 (百万円)	次期繰越 工事高 (百万円)
前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	海外					
	化学肥料プラント	55,473	16,210	71,684	9,654	60,420
	石油化学プラント	14,779	29,719	44,498	13,992	29,622
	石油精製プラント	19,466	10,106	29,572	12,590	12,394
	エネルギー関連プラント	94,122	9,094	103,216	37,440	63,889
	一般製造設備関連	19,170	9,679	28,849	4,718	23,239
	IT関連	97	219	316	196	117
	その他	293	54,603	54,897	773	54,117
	小計	203,403	129,632	333,036	79,365	243,801
	国内					
	石油化学プラント	823	6,237	7,060	1,455	5,570
	石油精製プラント	518	2,156	2,674	941	1,726
	エネルギー関連プラント	6,870	3,587	10,457	1,192	9,252
	一般製造設備関連	8,968	6,623	15,591	8,483	7,108
IT関連	3,300	8,752	12,053	8,622	3,389	
その他	809	5,403	6,212	5,092	1,119	
小計	21,290	32,760	54,050	25,788	28,166	
合計	※△8,193 224,693	162,393	387,087	105,154	※△9,947 271,967	
当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	海外					
	化学肥料プラント	74,762	20,318	95,080	26,909	67,283
	石油化学プラント	71,795	33,919	105,715	26,139	70,903
	石油精製プラント	9,952	31,245	41,198	8,545	31,575
	エネルギー関連プラント	85,812	16,147	101,959	47,035	54,268
	一般製造設備関連	20,872	3,415	24,287	13,407	10,302
	IT関連	120	349	469	325	143
	その他	65,117	3,029	68,146	11,982	49,621
	小計	328,433	108,425	436,858	134,344	284,099
	国内					
	石油化学プラント	6,293	2,021	8,315	4,573	3,697
	石油精製プラント	1,585	6,081	7,667	2,651	5,014
	エネルギー関連プラント	8,279	1,854	10,134	1,261	8,868
	一般製造設備関連	10,554	984	11,538	5,846	5,277
IT関連	3,035	8,050	11,085	7,664	3,302	
その他	938	4,791	5,729	4,680	1,049	
小計	30,687	23,783	54,470	26,678	27,210	
合計	※△1,138 359,120	132,209	491,329	161,023	※△773 311,309	

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しており、消費税等は含まれておりません。

2 期中完成工事高は、外貨建受注工事高のうち期中完成工事高に係る為替差分(前第3四半期連結累計期間8,740百万円、当第3四半期連結累計期間2,233百万円)を控除しております。

3 次期繰越工事高は、前期以前に受注した工事の契約変更等による調整分(前第3四半期連結累計期間1,224百万円、当第3四半期連結累計期間16,763百万円)を控除しております。

4 ※印は、外貨建契約に関する為替換算修正に伴う減額を示しております。